



上鷺宮

「自然といのちを守る学校」

[http:// nk-kamisagi-e. a. la9. jp/](http://nk-kamisagi-e.a.la9.jp/)

開校40年

No.441

平成30年度

学校だより 7月号

中野区立上鷺宮小学校

校長 堀 聡明

自分にチャレンジ

副校長 松久保 雅和

先日6年2組で「夢」を題材とした道徳の授業を行いました。そこで、「夢はありますか。」と質問をしたところ、ほとんどの子が夢を具体的に教えてくれました。

- チアリーダーになる。そして、みんなを笑顔にする。
- 漫画家か脚本家になる。今でも台本作りはたまにするし、マンガもよくかく。

この学習で、夢をあきらめないことを、副読本の資料を通して学ぶことができました。子どもたちは夢をもち、叶えたいと強く思っていました。

6月21日(木)に『夢☆未来プロジェクト』事業として、車いすバスケットボールパラリンピアン 京谷 和幸さんに講演と実技指導をしていただきました。京谷さんは元Jリーガーであり、パラリンピックに4大会連続出場している方です。現在は、全日本の車いすバスケットボールのコーチ

として活躍されています。

京谷さんのお話では、Jリーガーとして



活躍を始めた頃、交通事故により脊髄を損傷し、Jリーガーの道を断たれます。絶望の日々だったそうです。この時、現実を受け入れ、さらに次への「夢」、希望をもつことができた京谷さんの不屈の精神力に驚きました。どうすればそのように強い精神力をもつことができるのか、それは京谷さんのひとことに集約されていると感じました。

「夢をあきらめたら、そこで試合終了。」

ご本人による話は力強く、心を打ちます。京谷選手は、人との「出会い」、スポーツとの「出会い」をお話され、「感謝」することの大切さを強調されました。

ぜひ子どもたちが夢を一つずつ叶えられるよう支援し、応援していきたいと思えます。

7月の生活目標

身のまわりをきちんとしよう